

# かだってたんせ



令和2年3月15日発行

## ～大雄支えあいネットの取り組みより～

『居場所 ふれあい つながり（絆）を柱に新たな気持ちで』

これまで広報活動として「かだってたんせ」を発行してきました。チラシを発行することにより、地域の集いの場が増えてきていると実感しています。これも当地域のみなさんの関心の高さが表れた結果だと思えます。大雄支えあいネットとして広報活動の確かな手応えを得られた事は大きな自信となりました。

これからの活動については、基本となるものが人と人との集まり、繋がり、絆が広がっていく居場所づくりであると思っています。

また「おもいやり生き生きサロン」より提供して頂いた活動内容も今後参考にしていきたいと思えます。

併せて、伝統行事の継承や大雄地域内にある施設等との交流も含め、もう少し広がりのある活動が出来たらいいなあと思っております。

## おもいやり生き生きサロン

槻の木団地が出来た当初は近所付き合いが少なく、ご近所同士が分からない状況でしたが、約30年がたち、退職して家にいる時間も長くなるにつれ、交流を望む声が聞こえるようになってきました。

私自身、以前から近所の友人と時々家に集まり交流していましたが、「自分たちだけでなく地域みんなが集まって楽しく交流できる機会があれば良いのに」という声が出ていました。そんな時、大雄支えあいネットに構成員として参加して、いきいきサロンを知りました。



代表世話人  
村岡映子さん



槻の木団地には会館がなく、課題もありましたが、近くにある大雄地域福祉センターを利用してお試してから始め、たくさんの方が参加してくれました。みなさんから「定期的に集まりたい」との声が多く、いきいきサロンとして開催することにしました。

今では、サロン以外にも、「夕陽と鳥海山を眺める会」や「ざっこ蒸しの会」など有志による新たな交流活動も増え、住民同士のつながりをより深く感じるようになってきました。

# 三施設合同 ふれあい祭



地域と施設の交流を通して、地域に根差し、開かれた施設をめざし長年にわたり、すこやか大雄、大和更生園、ユー・ホップハウス合同で開催しています。

ステージ発表・売店・バザー・喫茶・食堂など、田根森婦人会や高校生ボランティアの皆さんの協力をいただきながらの一大イベントです。

昨年の10月12日(土)大型台風が接近しつつある中での開催となり、高校生ボランティアの協力は見送りましたが、ご利用者の歌や踊りをはじめ、ステージ演芸、各催しを盛況に終わることができました。

ふれあい祭以外にも、普段から施設の機能を地域のみなさんに利用していただき、自然に交流できるようになればと思っています。例えば、趣味活動等で場所を借りたい！(カラオケ、演芸の練習、レクリエーションなど)・・・興味のある方は、ご相談ください。



## 大雄地域つどいの場「みんなのカフェ」

大雄地域の子どもから高齢者まで、誰でも気軽にお茶っこを飲みながら語り合える居場所として、大雄地域福祉センターを会場に毎週水曜日と金曜日に開催している「つどいの場」をご紹介します。(4月～1月末現在の開催回数：81回/延べ参加者数539人)

水曜日は、1ヶ月に2回ほど、午前9時から午後3時頃まで、手芸グループ『さくら会』が利用しています。お茶っこ飲んで、話っこして、編み物やパッチワーク、折り紙などの作品づくりを楽しんでいます。

金曜日は、元ミニデイサービス利用者などが毎週集まり、お茶っこを飲みながらお話をしたり、折り紙やぬり絵、レクリエーションなどを楽しんだりと思い思いの時間を過ごしています。ミニデイサービスを利用していなかった方の参加もあり、新しい交流の輪が広がっています。(金曜日のみお弁当を注文することができます)

わきあいあいとお話ししながら楽しんでいます。  
みんなのカフェで一緒に手芸をしてみませんか♪



お茶っこ飲みしてお話しするのが楽しくて、毎週金曜日が待ち遠しいです。  
皆さんの参加を待ってまーす！

◎大雄支えあいネット(事務局)

横手市社会福祉協議会 大雄福祉センター内 電話：52-3311

◎横手市まちづくり推進部 大雄市民サービス課 電話：52-3905